

明治5年創業三河みりんの老舗・相生ユニビオがOICグループに参画  
発酵のプロの味がロピアを通じてご家庭へ。惣菜、中食、スイーツへも展開



食品総合流通業を展開する株式会社OICグループ（オイシーグループ）は、2025年6月2日、創業153年を迎える老舗酒類メーカー相生ユニビオ株式会社の全株式を取得し、同社がOICグループに参画しました。

OICグループは、スーパーマーケット「食生活♥♥ロピア」を全国に120店舗以上展開し、生産・製造、貿易、卸、外食を統合的に展開する「食品総合流通業」として、人々が食を通じて豊かな体験を得られる「食のテーマパーク」の実現を目指しています。また、2025年3月に発表した新経営理念「おいしいは、人が生きる力」の下、食の機能的価値だけでなく、情緒的・社会的価値の創出にも注力しています。

相生ユニビオは、明治5年から三河みりんを中心に酒類製造を行ってきた老舗の酒蔵であり、長年にわたり飲食店や旅館を主とした業務用市場で高い評価を得てきました。今後はOICグループの販路を生かし、惣菜や中食、スイーツなど多様な商品開発に取り組むことで、一般消費者との接点を広げていきます。

今回のグループ参画は、相生ユニビオが掲げる「おいしい食卓を広げたい」という目標と、OICグループが目指す世界観が深く共鳴したことにより実現しました。両社は今後、発酵技術を軸とした製品共創をはじめ、グループ内での連携可能性を最大限に生かし、国内外に向けた新たなブランド価値の創出を目指してまいります。

【プレスリリース】

2025年6月2日  
株式会社OICグループ  
相生ユニビオ株式会社

## 創業153年の老舗三河みりん蔵元の相生ユニビオが、OICグループに参画

スーパーマーケット「食生活♥♥（ラブラブ）ロピア」（以下、ロピア）をはじめ、食品総合流通業を展開する株式会社OICグループ（以下、OICグループ）は、2025年6月2日、創業153年の老舗で三河みりん蔵元である相生ユニビオ株式会社（以下、相生ユニビオ）の全株式を取得し、相生ユニビオがOICグループに参画しました。

OICグループは「おいしいは、人が生きる力」を新経営理念に掲げ、「食品総合流通業」として、食品専門スーパーマーケット「ロピア」をはじめ、生産・製造・貿易・卸、小売、外食まで幅広い事業を展開しています。そして、多様な事業を組み合わせることでシナジーを生み出し、人々が食を通じて楽しい体験をする「食のテーマパーク」の実現を目指しています。既に39社（相生ユニビオ含む）がグループ会社になっており、2031年度にはグループ会社100社、国内外合わせて売上高2兆円の実現を目指しています。

このたび相生ユニビオの「発酵の力を次代・世界へ」「愛情が介在する場としてのおいしい食卓を広げていく」という目標と、OICグループの目指す世界観が一致し、参画に至りました。

### 三河の恵みを生かし、醸造の可能性を追求してきた相生ユニビオ

相生ユニビオは、明治5年創業、153年の歴史を誇る三河みりんの老舗酒類メーカーです。愛知県三河地方の良質な伏流水と、矢作川上流域の豊かな穀倉地帯の恩恵を受け、良質なもち米と乙類焼酎による伝統的な製法のみりん造りを伝承してきました。一般的な本みりんと異なり、もち米由来の芳醇な甘みと深いコクを持つ“飲んでもおいしいみりん”として、飲食業界のプロたちから高い評価を得ています。



現在では、清酒・焼酎・ウイスキー・リキュールなど多様な酒類を製造する総合酒類メーカーとして事業を推進しています。また、みりんや飲用酒を手掛ける中で長年培った発酵技術をさまざまな領域で生かす取り組みは、国内外からも注目されており、TWSC（東京ウイスキー&スピリッツコンペティション）やIWC（International Whisky Competition）などの国際的なコンペティションでも数々の賞を受賞。品質とブランドの信頼性を裏付ける実績を重ねています。

## プロ愛用の味を食卓へ。グループ内の企業との多様なコラボから世界展開へ

長くプロユースに応えてきた相生ユニビオのものづくりが、OICグループへの参画を通じ、より多様な形で日常の食卓に届きます。

相生ユニビオはこれまで、全国の飲食店や旅館など業務用の分野を中心に高い評価を得てきました。一方で、時代の変化とともに、より多くの人々に自社の商品や技術を届けるための新たな展開も求められています。「ロピア」などの小売における新たな販売ルートや、多様なグループ企業との連携により、惣菜、中食、スイーツ市場への展開が可能になります。これまで知る人ぞ知る存在として認められてきた相生みりんの品質や発酵のノウハウが、より身近な形で家庭にも届くことで、新たなシナジーが生まれることが期待されます。

OICグループのグループ会社である「丸越醸造」、「とら醤油」、「利恵産業」、「THE HAMILTON」などとの協働により、果実酒を使ったスイーツや、みりんを生かした惣菜・和菓子、さらには製造過程で生じる副産物を生かした商品開発も検討予定です。さらに、台湾などアジア市場への展開、ジャパニーズウイスキーの輸出など、海外への広がりも視野に入れています。

## 世界中の食卓においしさと愛情を。「相生」が目指すもの

相生ユニビオは、その社名から、長年「ともにいきいき」というキャッチコピーの下、共栄の精神を重んじてきました。近年、企業ブランドの再構築を進める中で、「いきいき」とした人生に欠かせない存在として、ブランドのコアにあるのは、人の温もりを伝える、からだと心、両方にとって「おいしい食卓」という価値観であると再定義しました。

料理には人を思う気持ちが宿ること、そしてそれが「相生（あいおい）＝愛情」「食卓は愛情を介在する場」であるという哲学の下、今後は単なる発酵製品の製造にとどまらず、「人と人のつながり」そのものを創造しゆけるブランドへと進化していきます。OICグループへの参画により、この思いを商品開発や販売活動に生かし、国内外に「知恵と愛情に満ちた豊かな和食文化」を広げていきます。



### 相生ユニビオ 取締役社長 生形 年啓のコメント

働く皆さんのモチベーションをどう引き上げられるかを常に考えています。自分たちが携わったものが、日本全国、そして世界にまで届く、自分の考えたことがすぐに形になるような感覚を、若い年齢層からベテランの方にも感じてもらいたいです。

### 相生ユニビオ マーケティング室長 村松 美香氏のコメント

OICグループと会話を重ねていく中で、若手や現場を重視した自由闊達（かつたつ）な雰囲気や『どんなことにも挑戦してみよう』と前向きに挑戦する上昇気流に触れました。OICグループでは、フロントの皆さんに権限があり、店舗運営においても現場の人が信頼されています。その中で持ってきた情報や思いが尊重されて、オープンマインドなカルチャーができている。そこを自社にも取り入れていきたいと思っています。

【プレスリリース】

2025年6月2日  
株式会社OICグループ  
相生ユニビオ株式会社

## ■相生ユニビオ株式会社について

商 号：相生ユニビオ株式会社  
本 社：愛知県西尾市下町丸山5番地  
設 立：1959年11月9日  
代表取締役：村松浩一郎  
事業内容：みりん、清酒、蒸留焼酎、リキュール、果実酒等の開発、製造販売  
発酵調味、みりん風調味料をはじめ、だし、タレなどの食品の開発、製造販売、健康食品、機能性食品などの製造

## ■OICグループについて

「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を、世界に届ける食品総合流通業を目指すOICグループは、1971年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。さらに現在では、小売事業の枠を超え、生産・製造事業、貿易・PB・卸事業、外食産業まで展開し、幅広い事業を通じて、「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を世界に届ける「食のテーマパーク」を目指しています。日本国内のみならずアジアで事業を拡大し、2031年度までに売上高2兆円の実現を目標にしています。

商 号：株式会社OICグループ  
本 社：神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地  
設 立：1971年4月28日  
代表取締役：高木勇輔  
売 上 高：5,213億円（2025年2月期）  
事業内容：食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出入・卸  
店 舗 数：食品スーパーマーケット「ロピア」は全国20の都道府県と台湾で計125店舗（2025年6月2日現在）。首都圏を基盤としながらも、大阪や京都などの関西エリア、さらに中部エリアでも展開し、2023年には九州エリア、東北エリアへ進出。2024年には北海道、2025年5月には新潟県に出店した。